

2017年度3Q決算実績

2018年2月2日



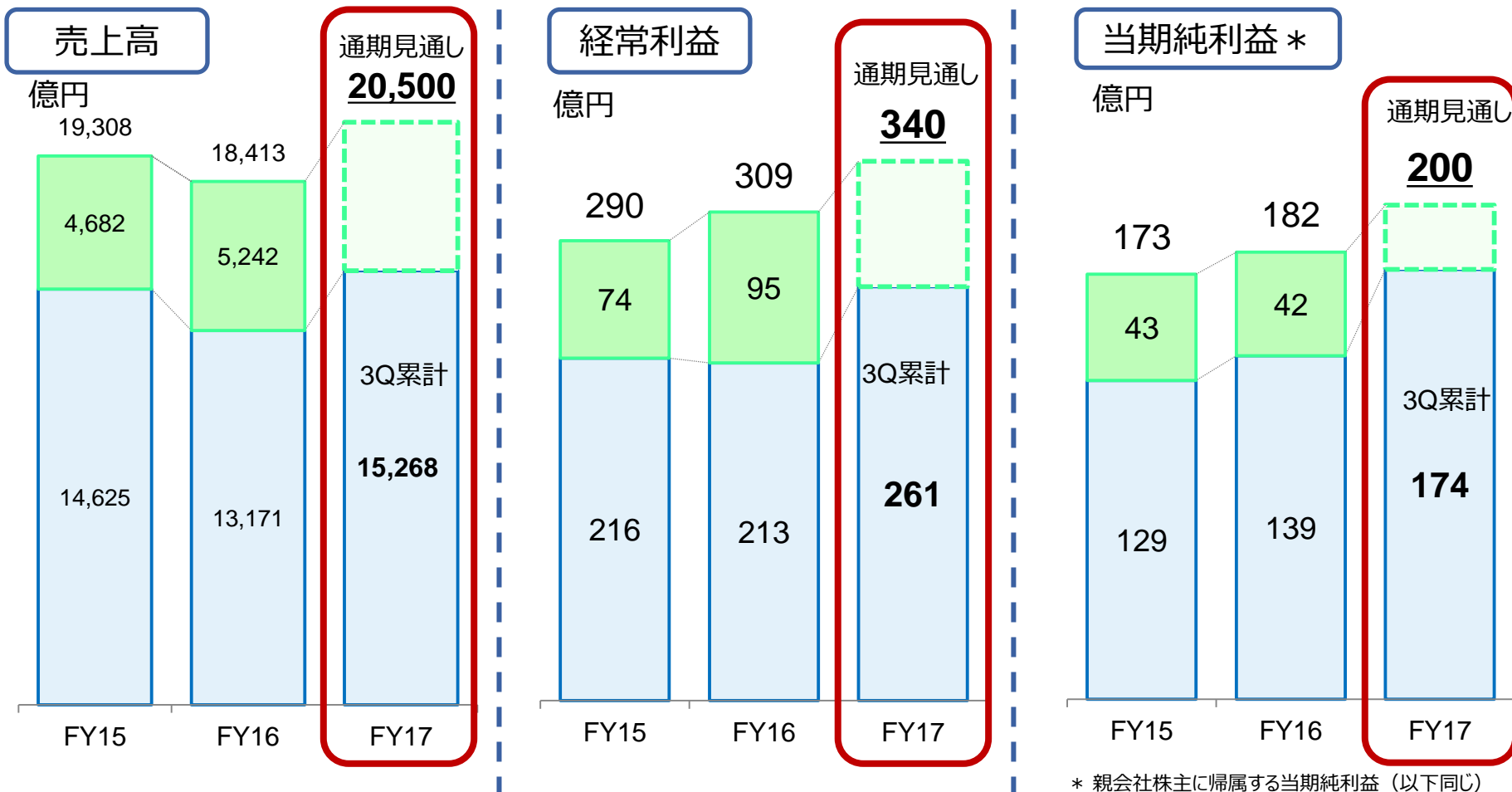
日鉄住金物産株式会社
NIPPON STEEL & SUMIKIN BUSSAN CORPORATION

1. 2017年度3Q決算実績及び2017年度見通し
2. 参考資料

1. 2017年度3Q決算実績及び 2017年度見通し

2017年度3Q決算のポイント

- 売上高 15,268億円（前年同期比+2,096億円）、経常利益 261億円（○47億円）、当期純利益* 174億円（○35億円）と統合後最高益ペースを継続
- 通期経常利益見通し 340億円（変更無し）

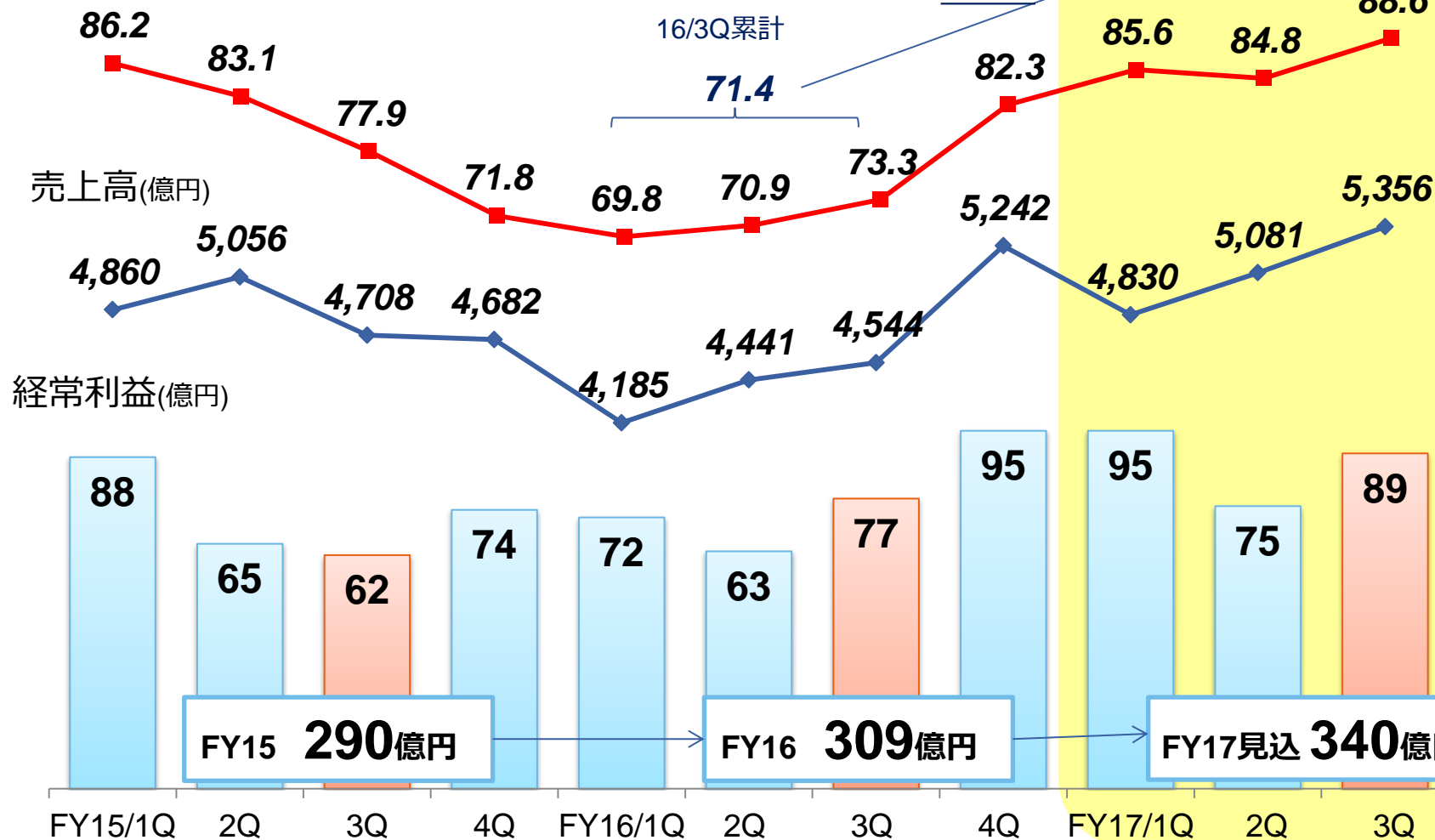


* 親会社株主に帰属する当期純利益（以下同じ）

鋼材単価と経常利益の動向

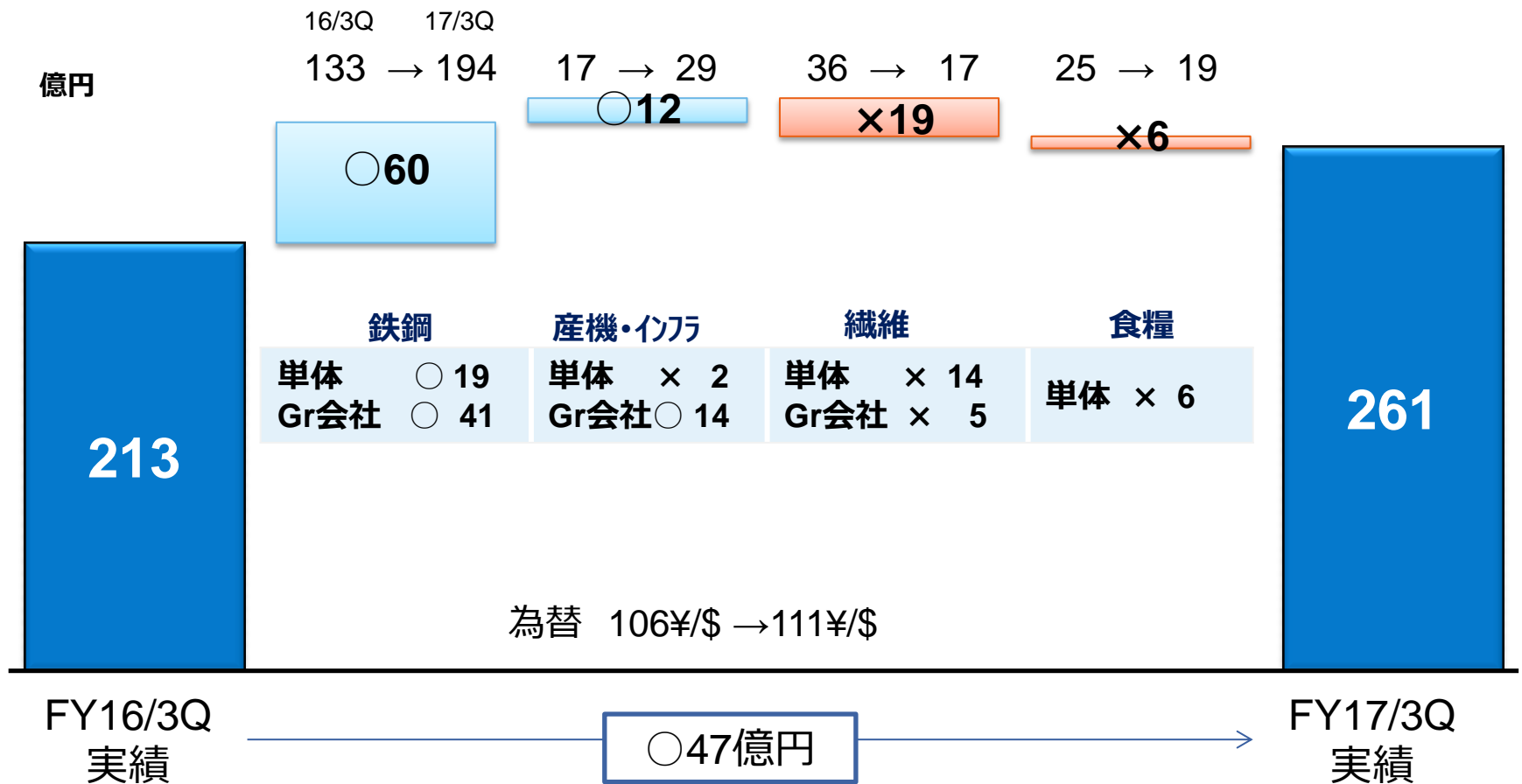
● 3Q累計鋼材単価は、前年同期比+21% (+14.9千円/t) の大幅上昇

当社鋼材販売単価(千円/t)



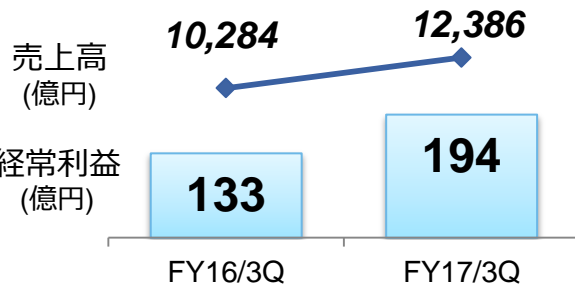
経常利益増減要因(16/3Q<累計>実績→17/3Q<累計>実績)

- 鉄鋼の価格上昇、関係会社の損益改善により、繊維・食糧の減益をカバー、産機・インフラの持分法利益の増加もあり、経常利益は47億円（22%）の増益



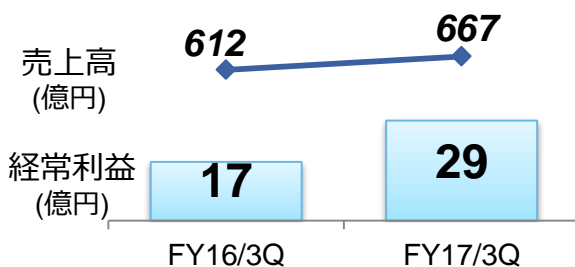
セグメント別売上高・経常利益増減

鉄鋼



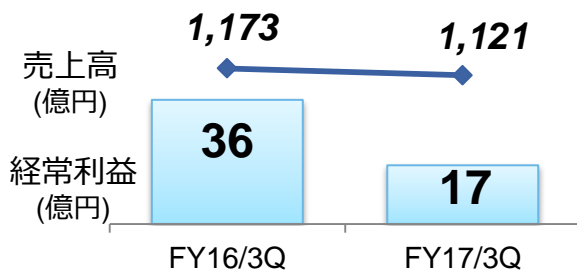
- 内外鋼材需要は堅調に推移、当社販売量は国内増、輸出減の1,009万トﾝ（前年同期比×26万トﾝ）
- 鋼材単価上昇に加え、内外グループ会社の損益大幅改善もあり、経常利益は前年同期比○60億円、46%増益の194億円

産機・インフラ



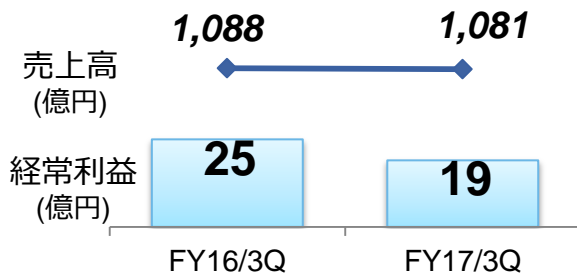
- 非鉄市況上昇に伴い増収
- タイ持分法適用会社における負ののれん発生益等により、経常利益は前年同期比○12億円、73%増益の29億円

繊維



- 厳しい経営環境は継続し▲4%の減収
- 前年同期にあった円高による原価低減効果の減少や、小ロット・短納期化による利益率の悪化、グループ会社の損益悪化などから、経常利益は前年同期比×19億円、53%減益となる17億円

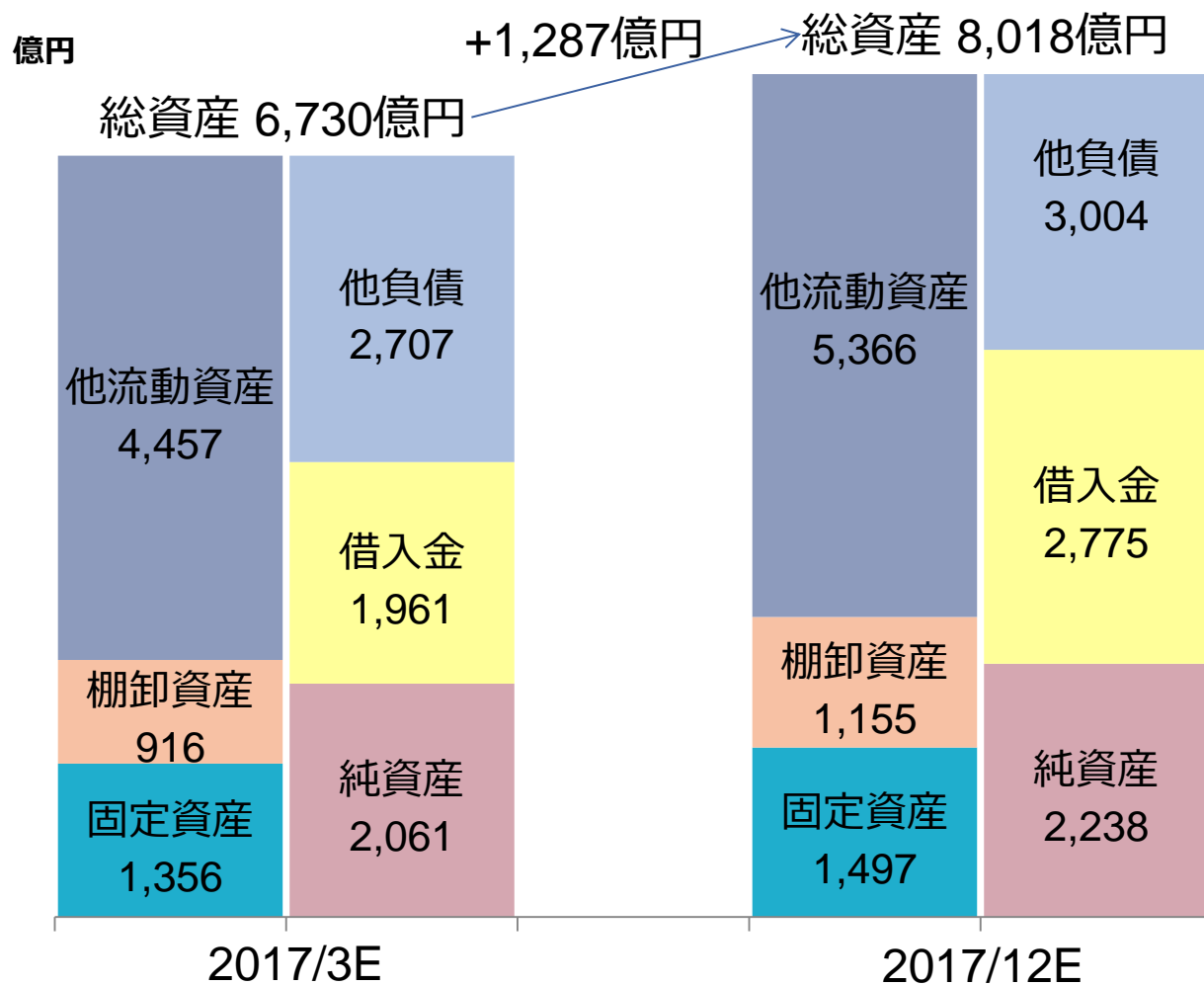
食糧



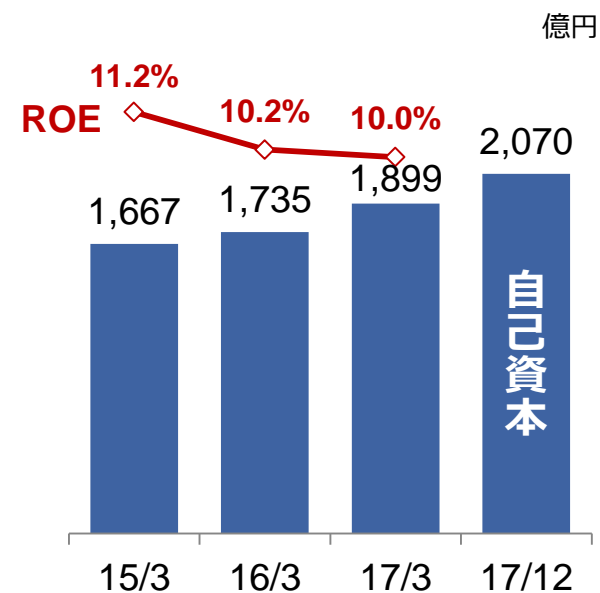
- 食肉価格は全体としては安定的に推移し、売上高は前年同期比微減となる1,081億円
- 輸入鶏肉の市況変動などにより利益率が悪化したことから、経常利益は前年同期比×6億円、24%減益となる19億円

バランスシート状況

- 鋼材単価上昇影響及び休日影響等により、売上債権・棚卸資産が増加



	17/3E	17/12E
自己資本比率	28.2%	25.8%
Net - DER	0.91倍	1.23倍



2017年度業績見通し <前回から変更無し>

億円	FY16		FY17		FY17 見通し	増減 17-16
	下期	上期	3Q	下期 見通し		
売上高	9,787	18,413	9,911	5,356	10,589	2,087
鉄鋼	115	196	126	67	119	○ 48
産機・イワ	10	22	22	7	8	○ 7
繊維	30	54	9	7	29	× 16
食糧	16	33	12	6	15	× 7
経常利益	173	309	171	89	169	○ 31
当期純利益	94	182	113	61	87	○ 18
EPS (円)	305.73	589.96	365.97	199.45	281.04	57.05
配当(円/株)	105	180	90		90	-
配当性向		30.5%				27.8%

* FY16の配当は株式併合後の数値で換算し記載

配当方針

当社は株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題の一つとして考え、財務体質の改善を図りつつ、連結配当性向25%~30%を目安に業績に応じた配当を行うことを基本方針といたします。

2. 参考資料

2017年度3Q決算概況

	FY2016/					FY2017/	1-3Q 増減
	3Q	1-3Q	1Q	2Q	3Q	1-3Q	
*1鋼材販売量 (千ト)	3,435	10,357	3,280	3,425	3,391	10,096	-261
*1鋼材単価 (千円/ト)	73.3	71.4	85.6	84.8	88.6	86.3	14.9
億円							
売上高	4,544	13,171	4,830	5,081	5,356	15,268	2,096
(利益率) 売上総利益	(6.8%) 311	(7.0%) 920	(6.6%) 319	(6.3%) 317	(6.2%) 331	(6.3%) 968	○ 48
営業利益	74	210	79	68	84	232	○ 22
持分法損益	2	9	12	7	6	26	○ 17
経常利益	77	213	95	75	89	261	○ 47
特別損益	0	-2	-1	-1	1	-1	○ 1
当期純利益	51	139	64	48	61	174	○ 35
*2 EPS(円)	167.10	451.33	207.52	158.44	199.45	565.42	114.09

*1 何れも単体、販売量には半製品を含む

*2 2016年10月1日を効力発生日として、10株を1株とする株式併合を実施したため、2016年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し算定

特別損益の内訳

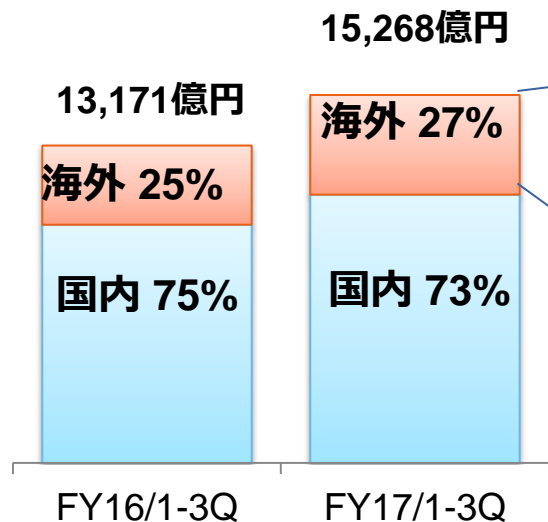
億円	FY16/3Q	FY17/3Q	増減
固定資産売却益	1.1	1.7	○ 0.6
投資有価証券売却益	2.3	1.2	× 1.1
段階取得に係る差益	1.0	-	× 1.0
負ののれん発生益	0.4	-	× 0.4
特別利益計	4.8	2.9	× 1.9
減損損失	1.7	0.0	○ 1.7
投資有価証券売却損	1.6	0.2	○ 1.4
投資有価証券評価損	0.9	3.9	× 3.0
出資金評価損	0.4	-	○ 0.4
持分変動損失	0.8	-	○ 0.8
関係会社整理損失	2.0	-	○ 2.0
特別損失計	7.3	4.1	○ 3.2
特別損益計	-2.5	-1.2	○ 1.3

四半期別売上高・経常利益推移

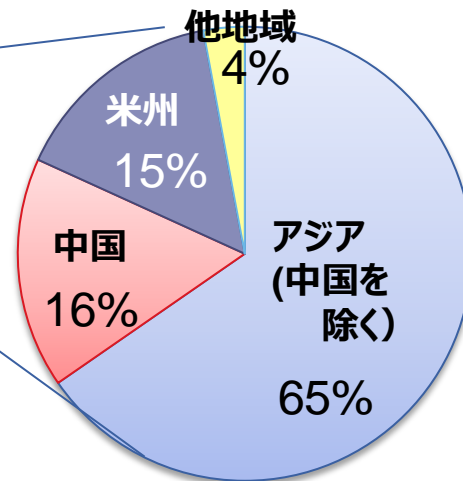
億円	FY2014		FY2015				FY2016				FY2017		
	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
鉄鋼	4,286	4,286	3,853	3,973	3,654	3,629	3,230	3,472	3,581	4,199	3,896	4,138	4,351
産機 ¹ 万	259	236	235	259	205	232	214	202	195	251	221	222	223
繊維	454	484	390	429	467	473	373	394	404	435	361	366	393
食糧	413	343	378	386	380	344	363	365	359	353	346	350	384
その他	2	3	3	6	0	3	3	5	3	2	4	4	3
売上高計	5,415	5,353	4,860	5,056	4,708	4,682	4,185	4,441	4,544	5,242	4,830	5,081	5,356
鉄鋼	54	57	54	44	38	46	38	42	52	63	63	63	67
産機 ¹ 万	11	11	19	7	4	1	7	4	4	5	14	7	7
繊維	3	20	7	5	10	19	16	8	11	18	9	0	7
食糧	8	4	7	6	8	6	9	7	7	8	7	4	6
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常利益計	77	94	88	65	62	74	72	63	77	95	95	75	89

当社海外売上高の推移

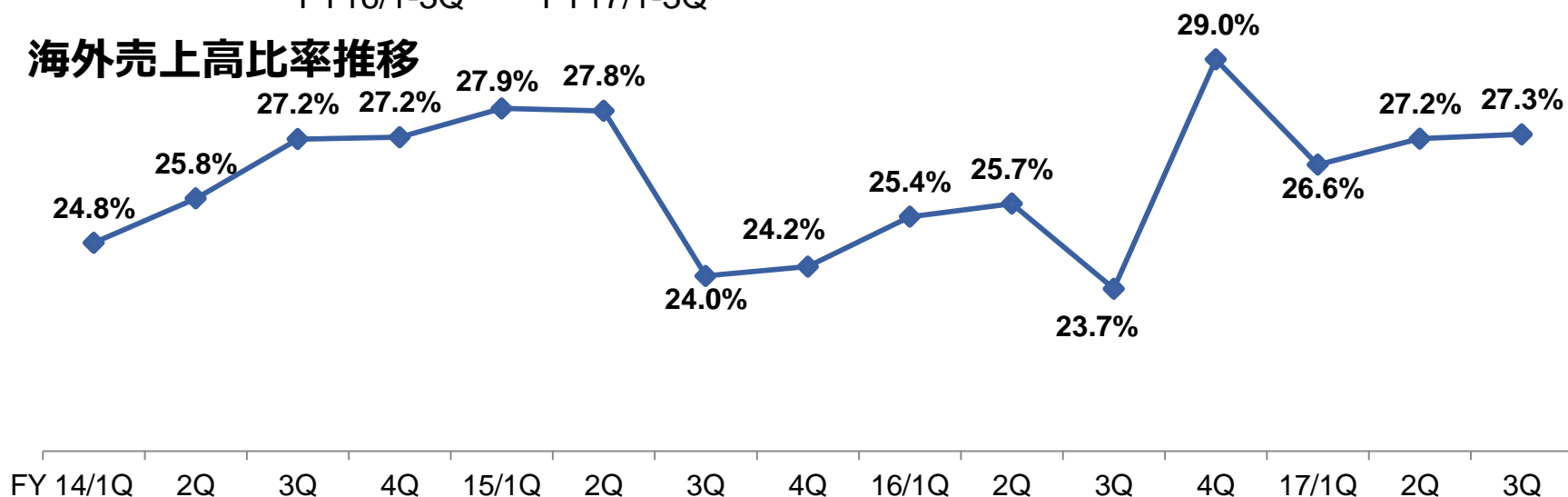
連結売上高



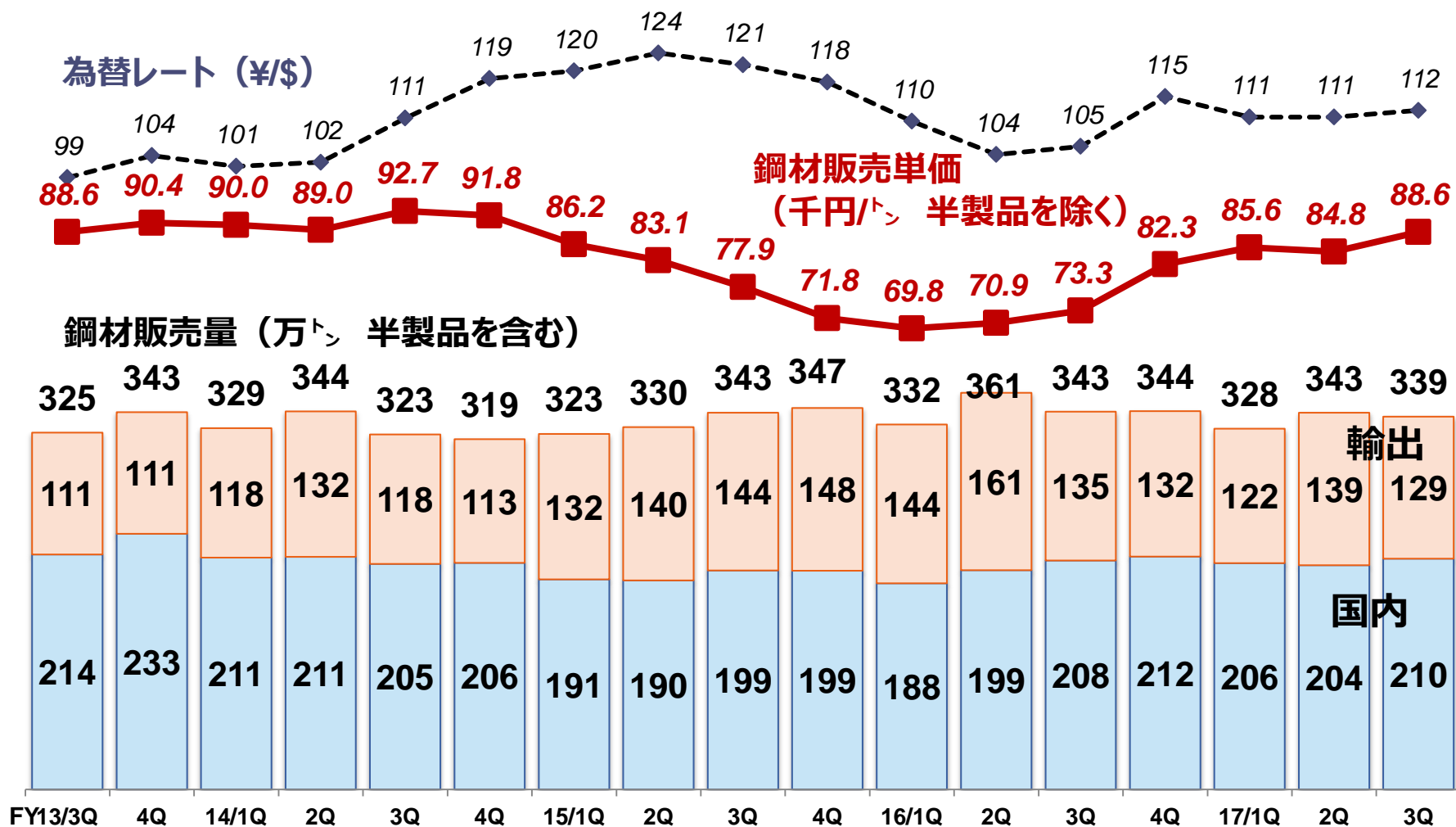
海外地域別売上高

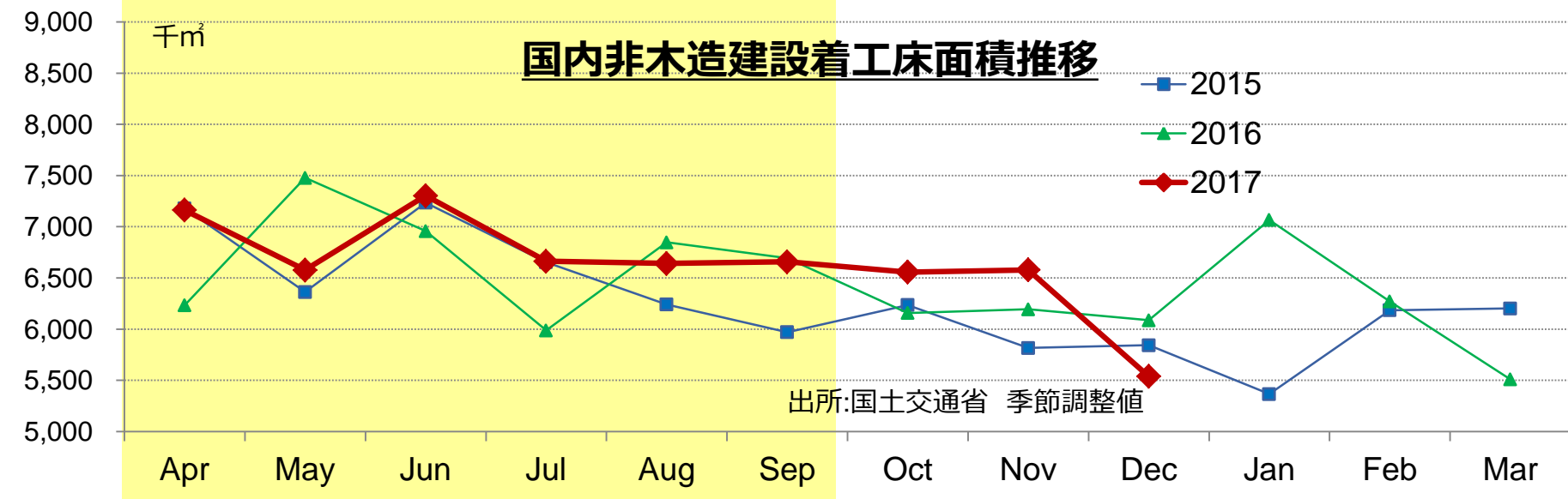
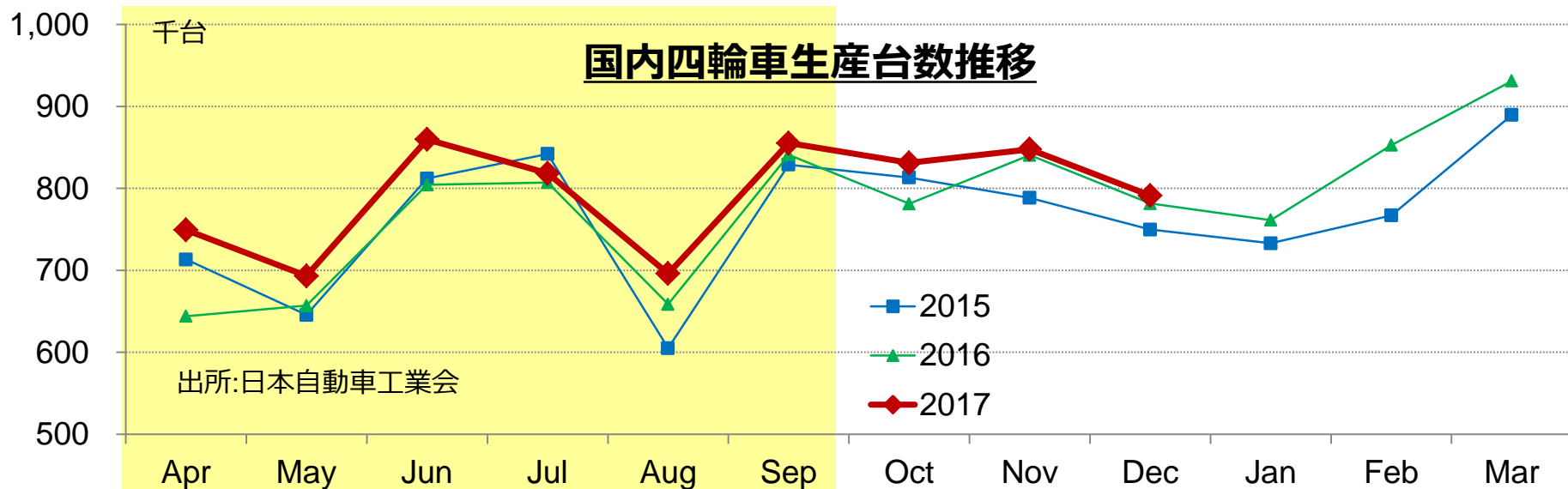


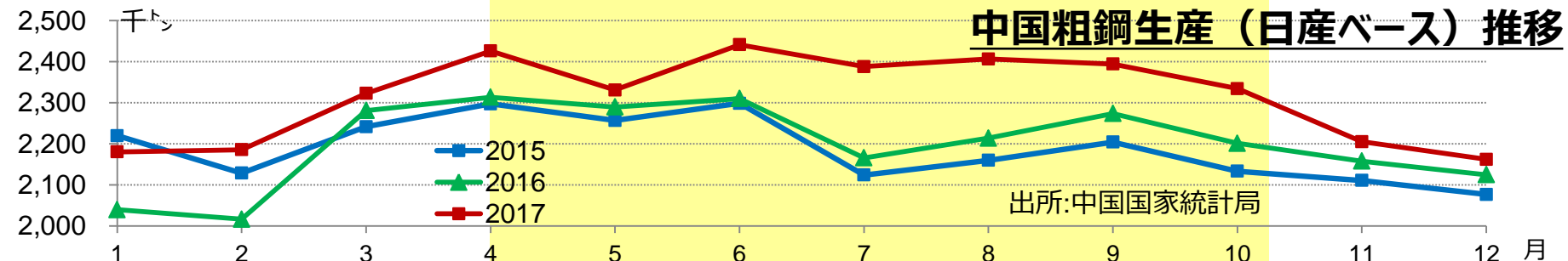
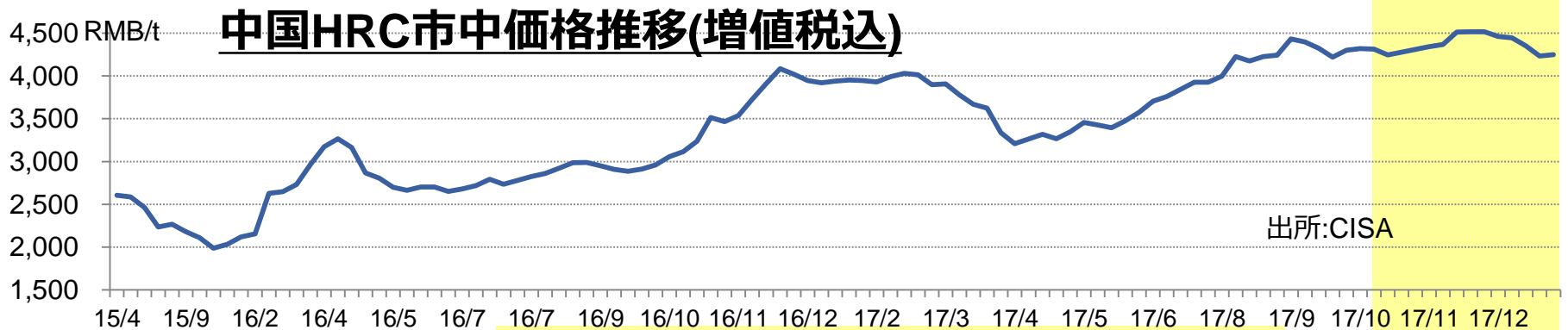
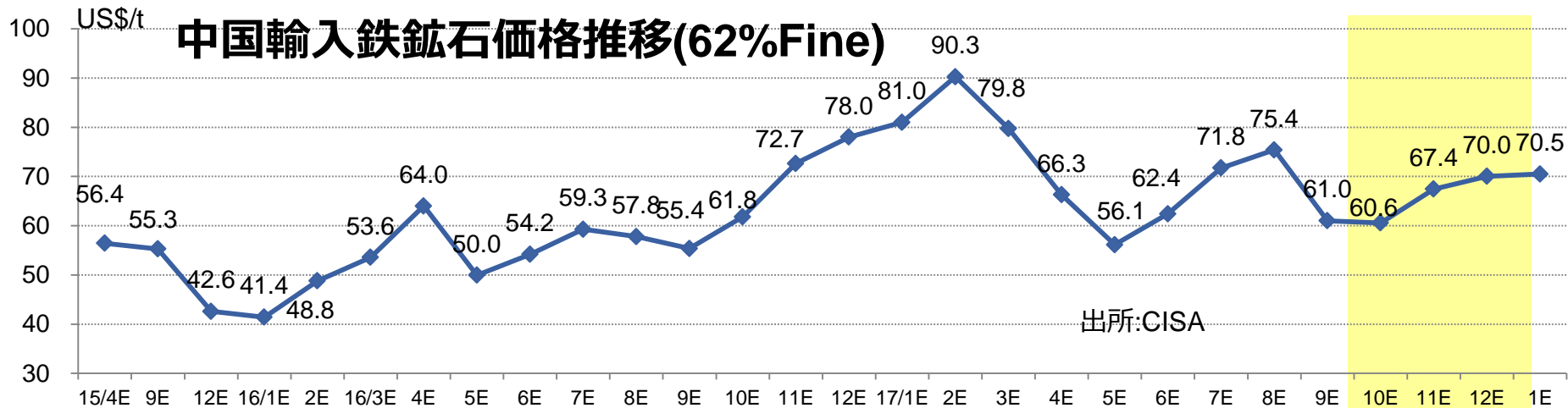
海外売上高比率推移



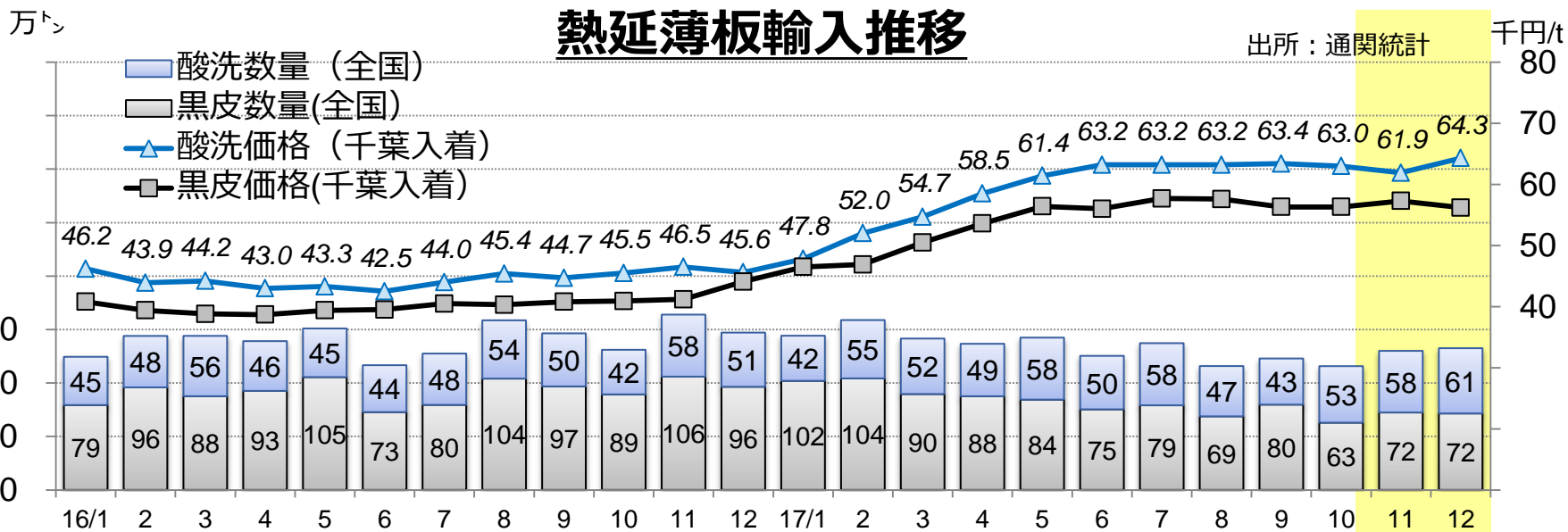
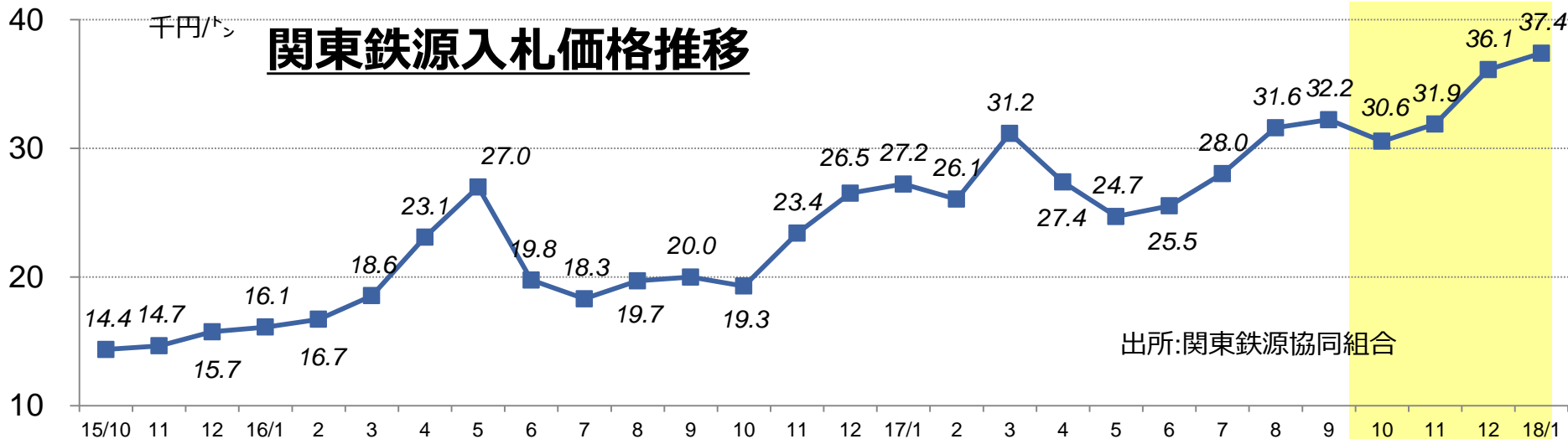
鉄鋼事業(単独) 鋼材販売量と単価の推移



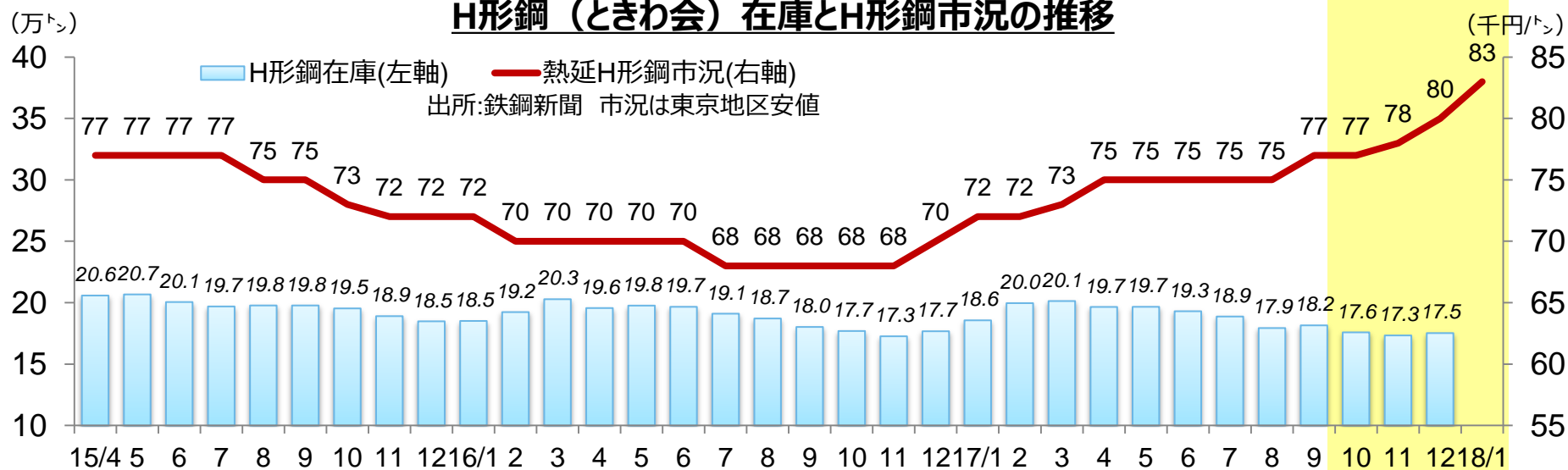
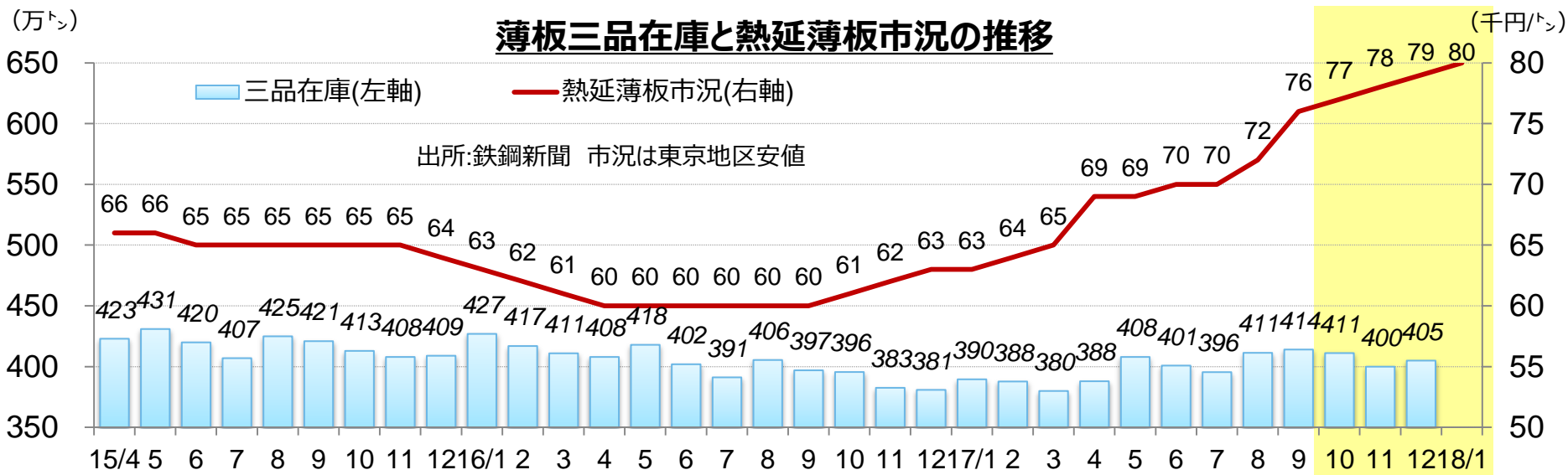




鋼材需給関係指標



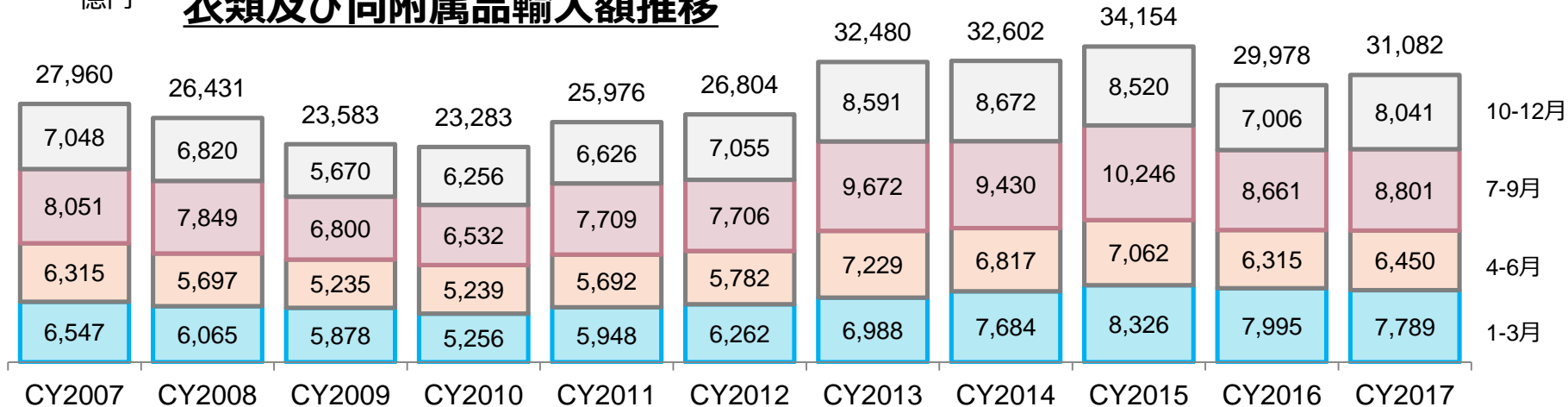
国内鋼材市況の推移



繊維事業 / 産機・インフラ事業関係指標



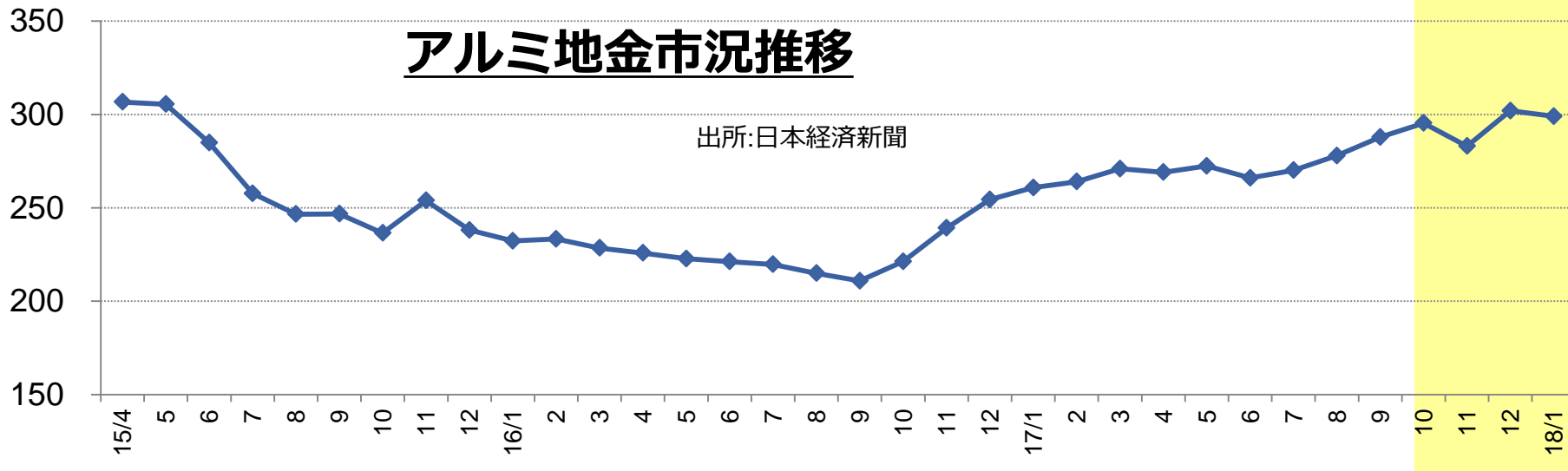
億円 衣類及び同附属品輸入額推移



出所:通関統計

千円/t

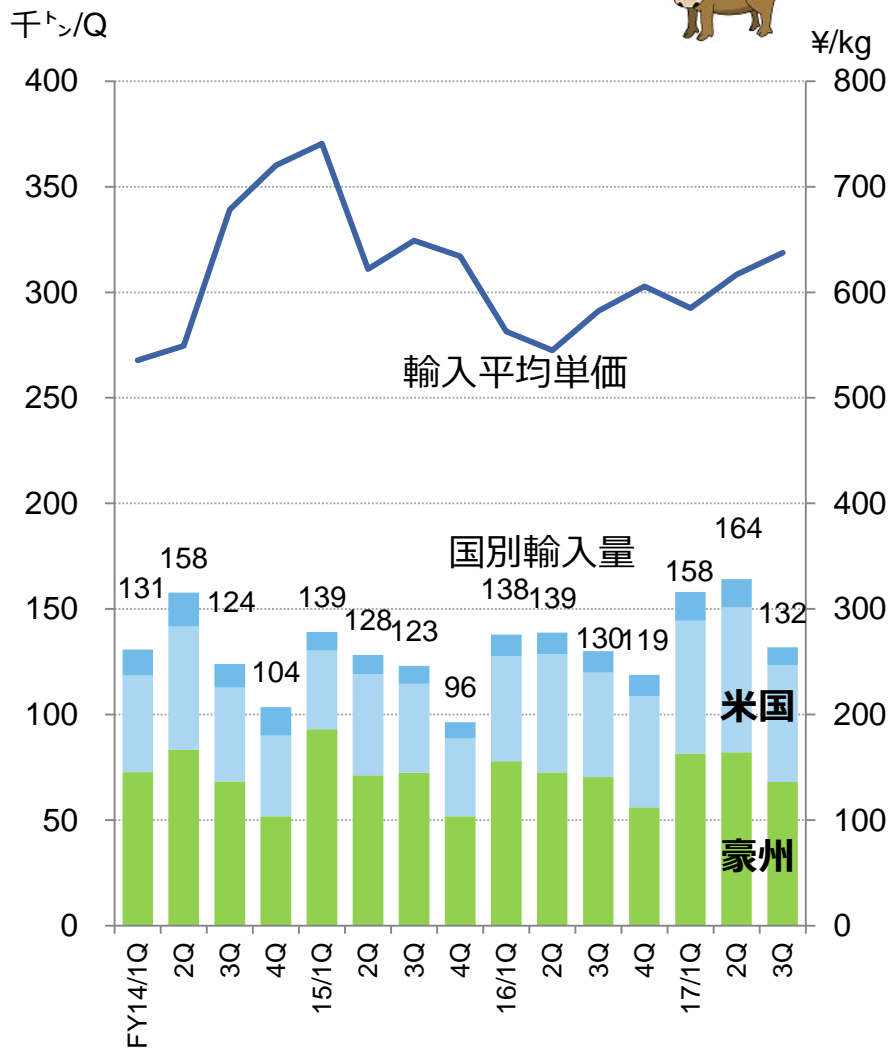
アルミ地金市況推移



食糧事業関係指標-1

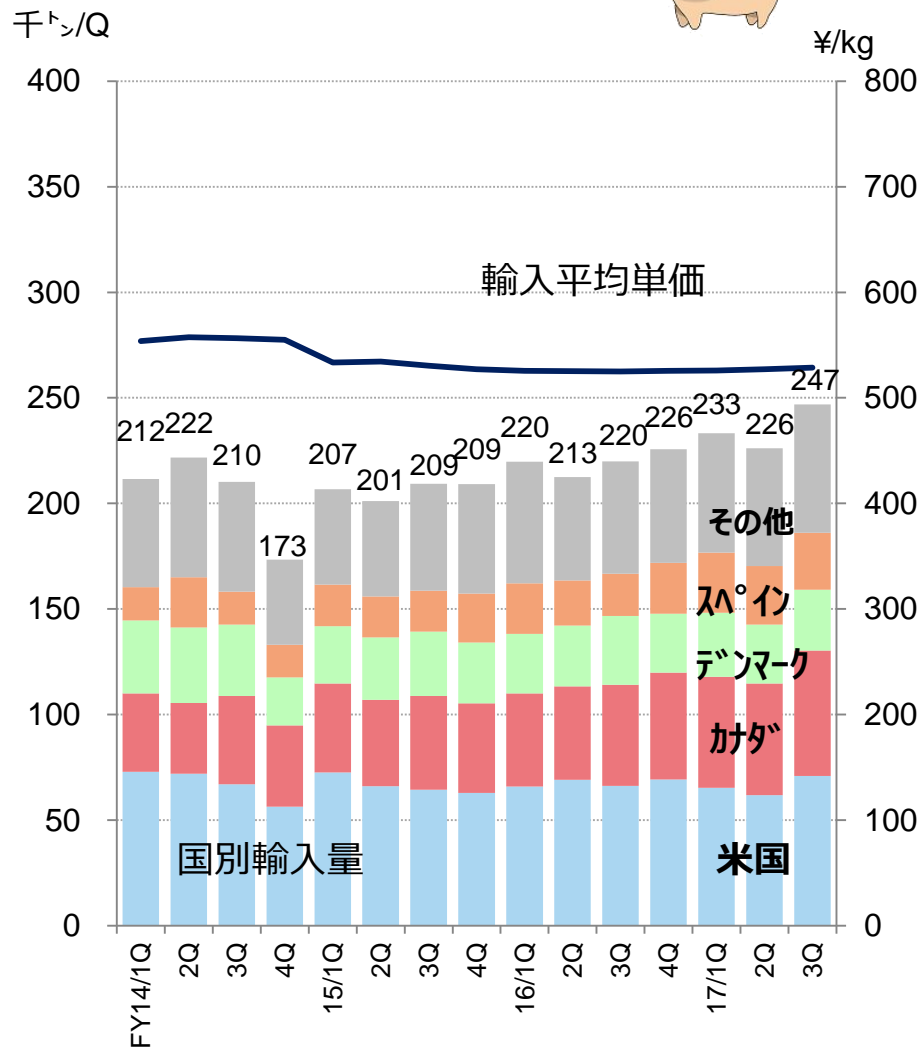


輸入牛肉量および輸入価格



(出所)通関統計

輸入豚肉量および輸入価格

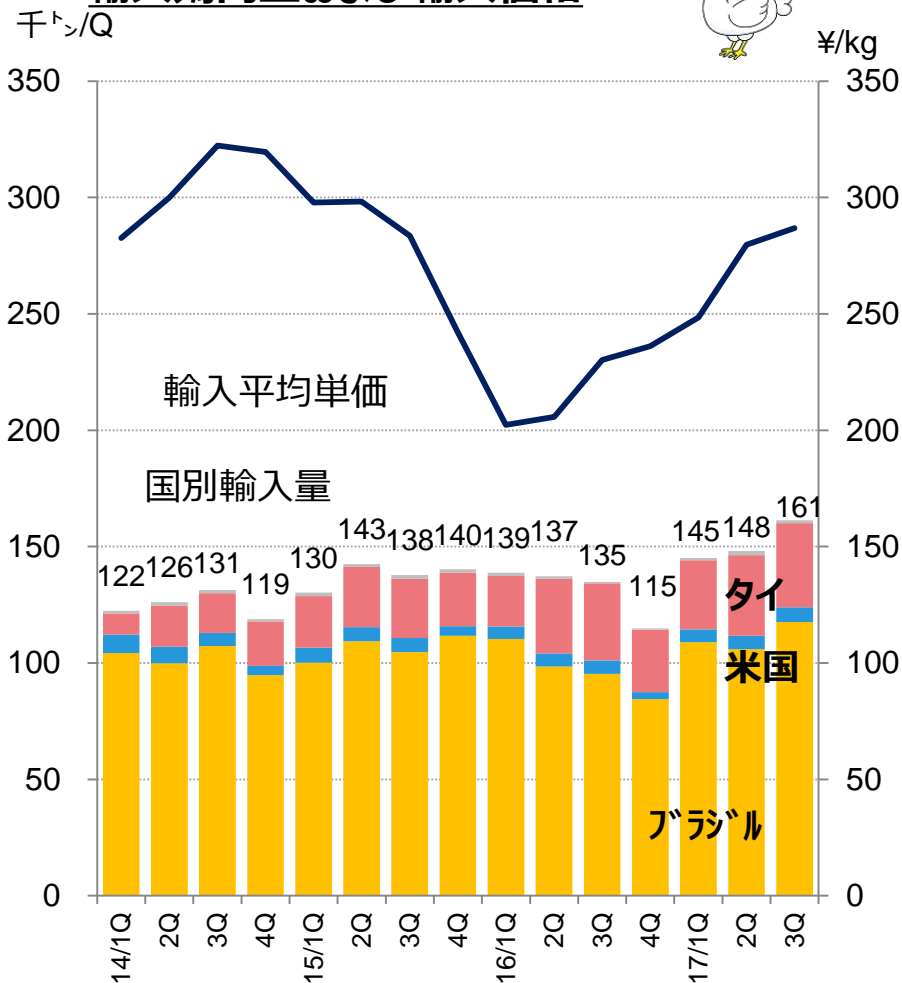


(出所)通関統計

食糧事業関係指標2

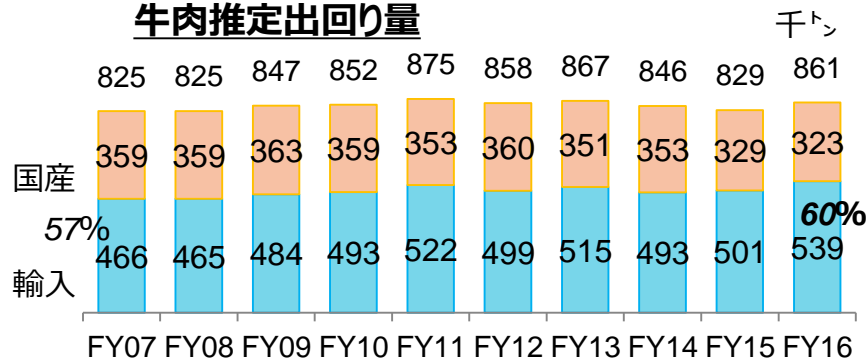


輸入鶏肉量および輸入価格

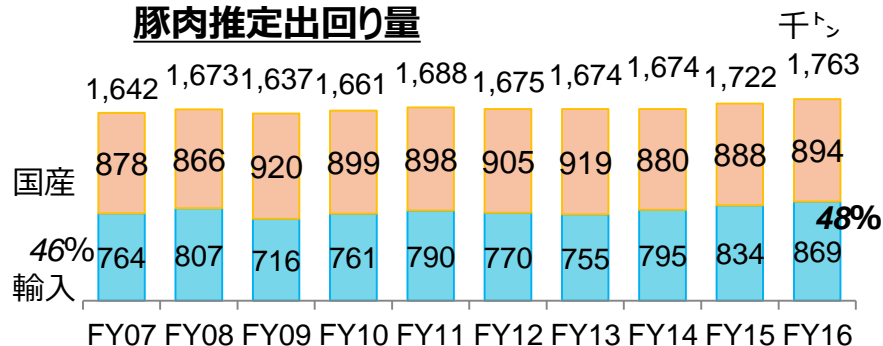


(出所)通関統計

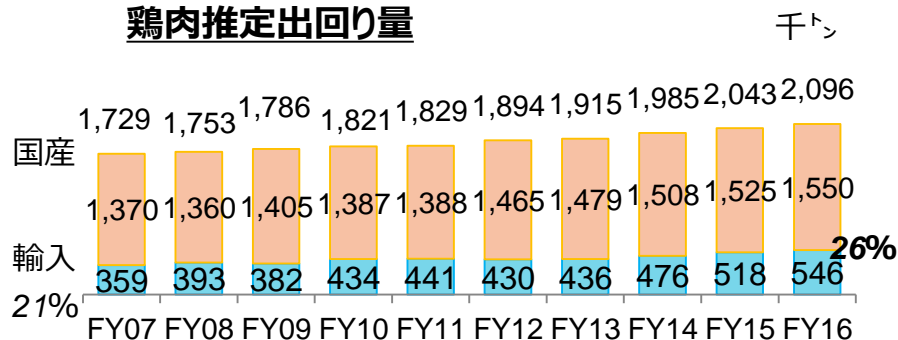
牛肉推定出回り量



豚肉推定出回り量



鶏肉推定出回り量



(出所)農畜産業振興機構

中期経営計画(2015~2017)の概要 < 2015/5月公表 >

主要施策

当社の強みを活かした 成長戦略の推進

鉄鋼シェアアップ
海外取引比率向上

アパレルODM
海外売上拡大

ヘッドレスト事業拡大
タイ工業団地拡張

食糧海外ビジネス
強化・拡大

3か年投資枠450億円 (+25%)

業界トップクラスの競争力の 維持・強化

安心・安全・
品質の追求

業務基盤
拡充

生産性向上
業務効率化

統合シナジーの発揮

定量目標

2017年度目標 (FY14対比)

売上高	2兆3,000億円 (+ 9%)
内海外	6,800億円 (+23%)
経常利益	360億円 (+18%)
当期利益	210億円 (+18%)

目標財務体質

ROE	10% 以上
自己資本	2,000億円 以上
Net DER	1.0 未満
配当性向	25%~30%

日鉄住金物産株式会社企業理念

1. 新たな社会的価値を持った製品、サービスを生み出す
高い志を持った企業グループであり続けます。
2. 信用、信頼を大切にし、お客様と共に発展します。
3. 人を育て人を活かし、人を大切にする企業グループを創ります。

本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料でなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載された将来の予測等は、説明会の時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、不確定要素を含んでおります。従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控えくださいますようお願い致します。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。



日鉄住金物産株式会社
NIPPON STEEL & SUMIKIN BUSSAN CORPORATION